

令和2年度

これからのまちづくりのための
市民意識調査報告書

令和2年12月

燕市企画財政部企画財政課

目 次

	頁
1. 調査の概要	1
(1) 目的	1
(2) 調査方法	1
(3) 回収結果	1
(4) 報告書の見方	1
2. 集計結果	2
問1 (ア) 性別	2
(イ) 年齢	2
(ウ) お住まいの地区 (小学校区)	3
(エ) 居住形態	3
(オ) 職業	4
通勤・通学先	4
(カ) 燕市居住年数	5
問2 住みやすさ	5
問3 居留意向	6
市外に引っ越したい理由	7
問4 まちづくりに対する満足度と重要度	8
問5 将来の悩みや不安	10
問6 特色や資源、魅力や自慢できること	11
問7 行政サービスと費用負担のあり方	13
問8 まちづくり基本条例の認知度	13
問9 自治会や各種団体への参加	14
問10 参加したことがある団体の活動	14
問11 参加したことがない理由	15
問12 利用している情報媒体	16
3. 調査票	17

1. 調査の概要

(1) 目的

本調査は、「第2次燕市総合計画」の進行管理に当たり、市民が日頃まちづくりや身近な生活環境についてどのように考えているのかを把握するとともに、各施策の満足度、重要度を明らかにすることにより、施策の優先順位の検討等に資することを目的とする。

(2) 調査方法

本調査の方法は、下記のとおりである。

項目	内容
調査地域	燕市全域
調査対象者	燕市内在住の満18歳以上の男女個人 (令和2年10月現在)
標本数	2,000人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
配付・回収方法	郵送配付、郵送回収・ウェブ回答
配付・回収期間	令和2年10月21日(水)～令和2年11月5日(木)

(3) 回収結果

有効回収数：932票（有効回収率46.6%）

(4) 報告書の見方

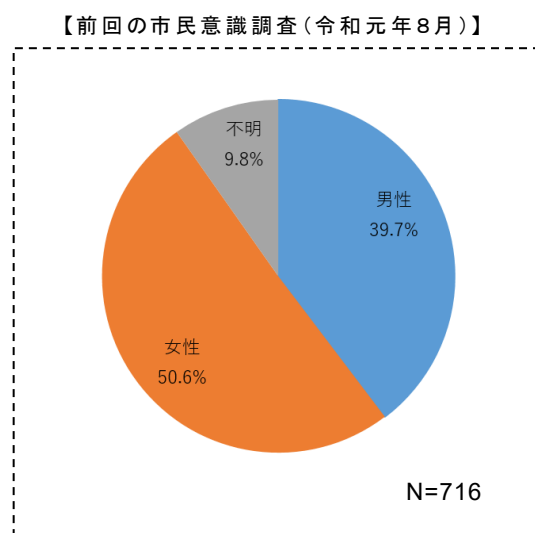
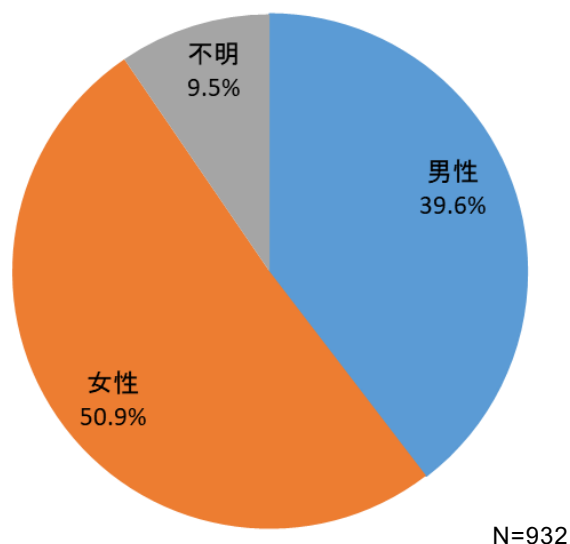
- ①回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- ②複数回答の設問の場合、全ての回答割合を合計すると100%を超える場合がある。
- ③基数となるべき実数(N)は、特に記述のない限り、有効回収数である。
- ④本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ⑤前回の市民意識調査と設問、選択肢が変更になっているものがある。

2. 集計結果

問1 あなたご自身についておたずねします。

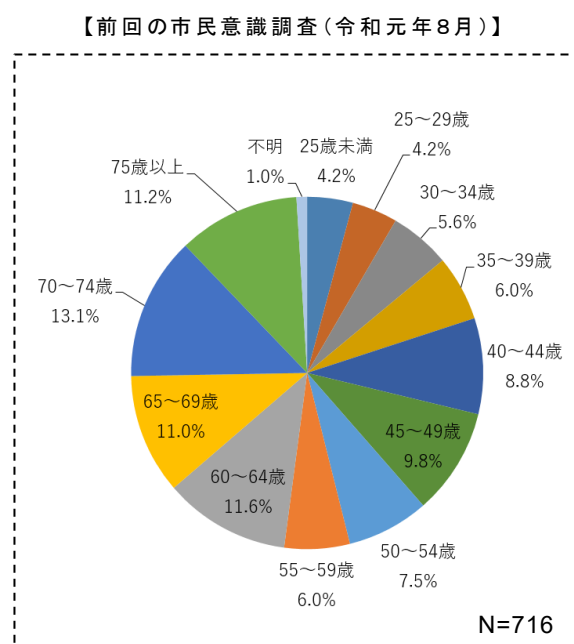
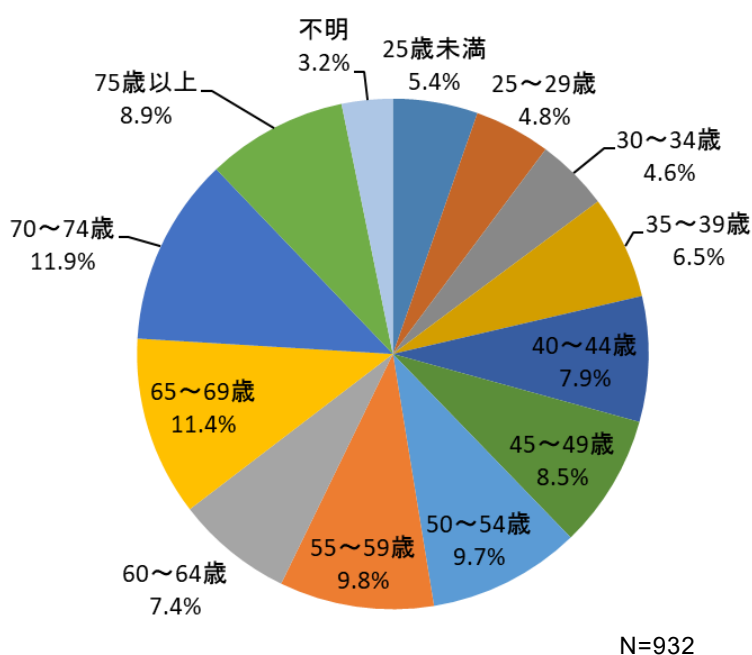
(ア) あなたがとらえているあなたの性別は

「男性」が39.6%、「女性」が50.9%であり、前回調査と比較して大きな変化は見られない。



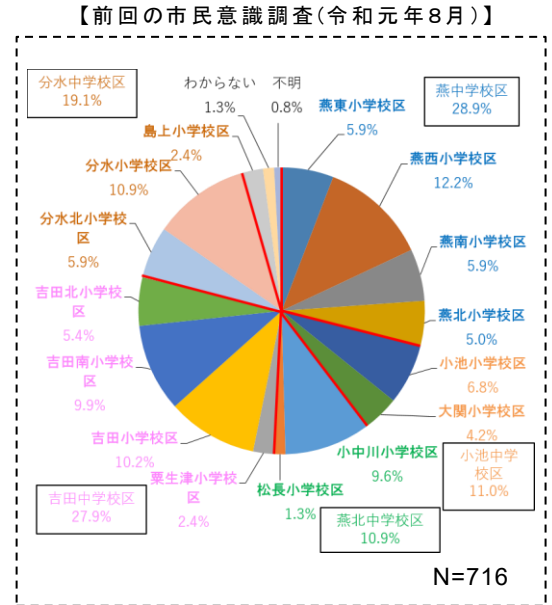
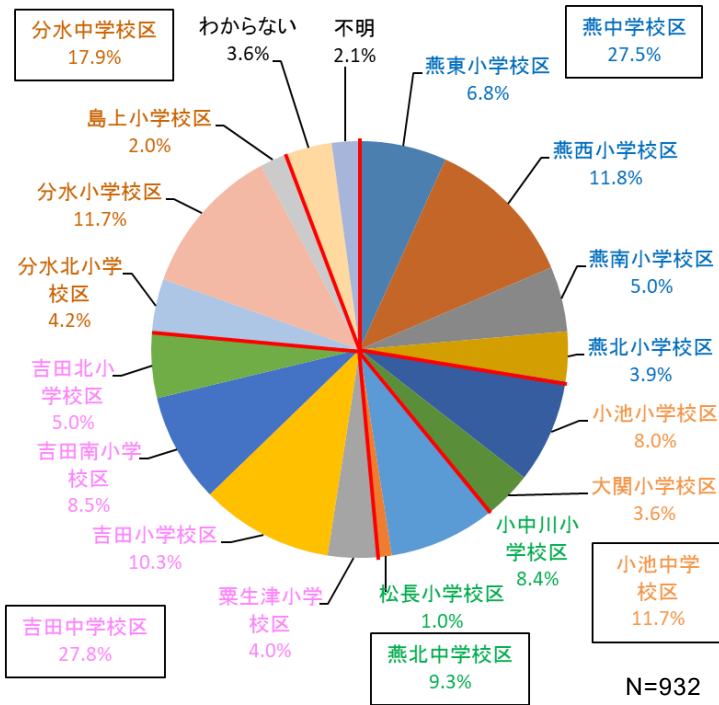
(イ) あなたの年齢は

年齢別の割合は、「70～74歳」が最も多く11.9%、次いで「60～64歳」が11.4%、「55～59歳」が9.8%となっている。前回調査との比較では、「55～59歳」が3.8%の増加、「60～64歳」が4.2%の減少である。



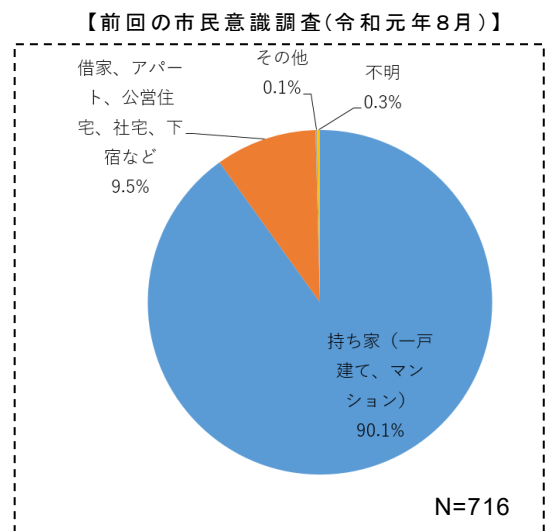
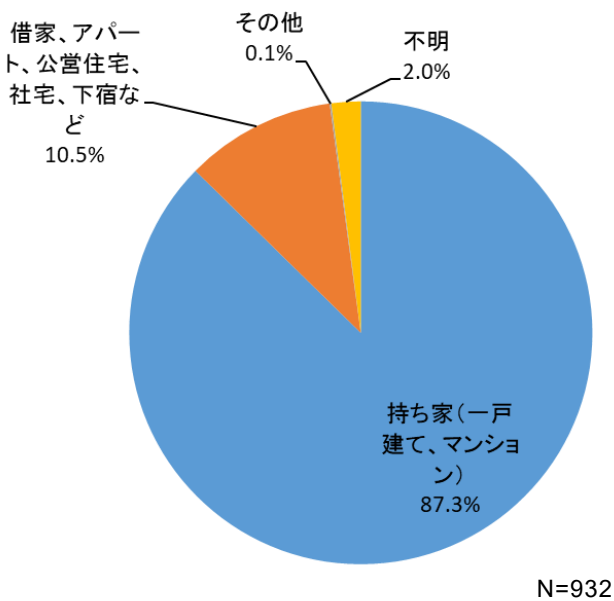
(ウ) あなたのお住まいの地区（小学校区）は

居住地域別では、「燕西小学校区」が最も多く 11.8%、次いで「分水小学校区」が 11.7%、「吉田小学校区」が 10.3%となっており、上位3位は前回調査と同様である。



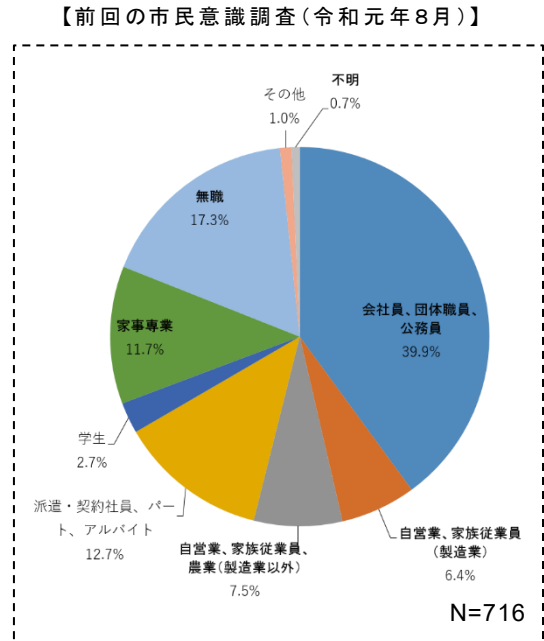
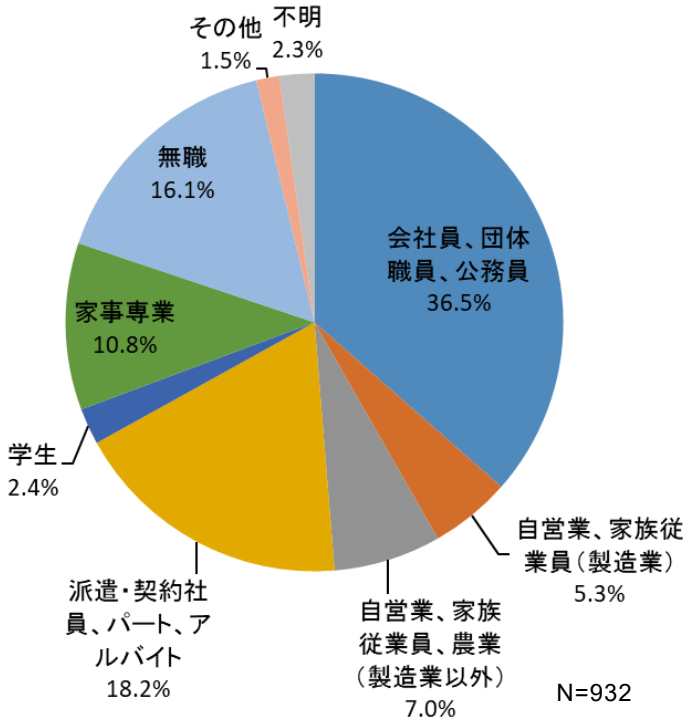
(エ) あなたのお住まいの形態は

「持ち家（一戸建て、マンション）」が 87.3%、「借家、アパート、公営住宅、社宅、下宿など」が 10.5%となっている。



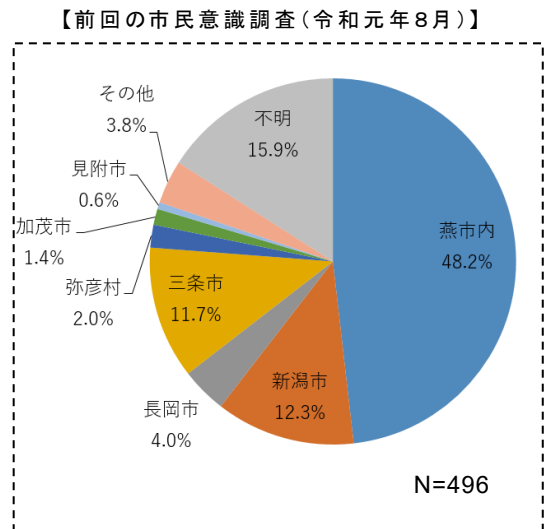
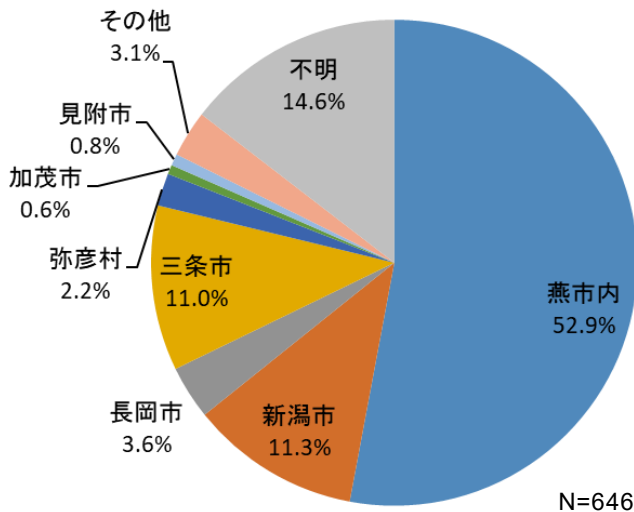
(オ) あなたのご職業は

「会社員、団体職員、公務員」が最も多く 36.5%、次いで「派遣・契約社員、パート、アルバイト」が 18.2%、「無職」が 16.1%となっている。前回調査との比較では、「派遣・契約社員、パート、アルバイト」が 5.5%増加し、「会社員、団体職員、公務員」が 3.4%減少した。



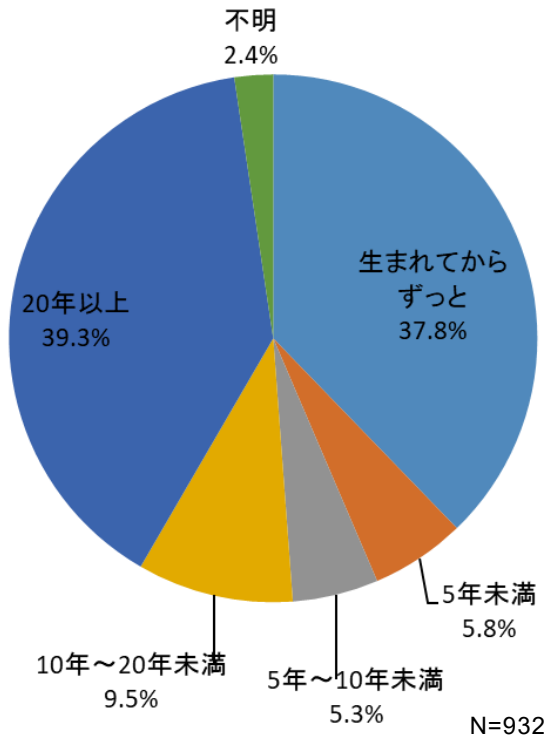
通勤・通学先は

「燕市内」が最も多く 52.9%、次いで「新潟市」が 11.3%、「三条市」が 11.0%、「長岡市」が 3.6%となっている。

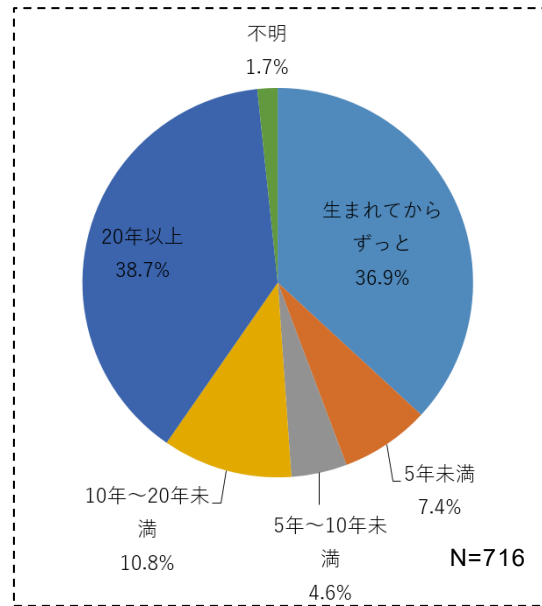


(カ) あなたが燕市に住みはじめてからの年数は

「20年以上」が最も多く 39.3%、次いで「生まれてからずっと」が 37.8%となっている。この2つの選択肢で約 77%を占めている。

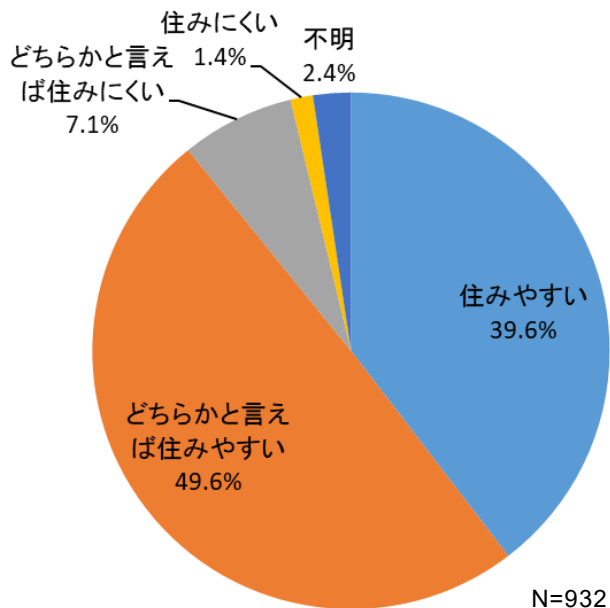


【前回の市民意識調査(令和元年8月)】

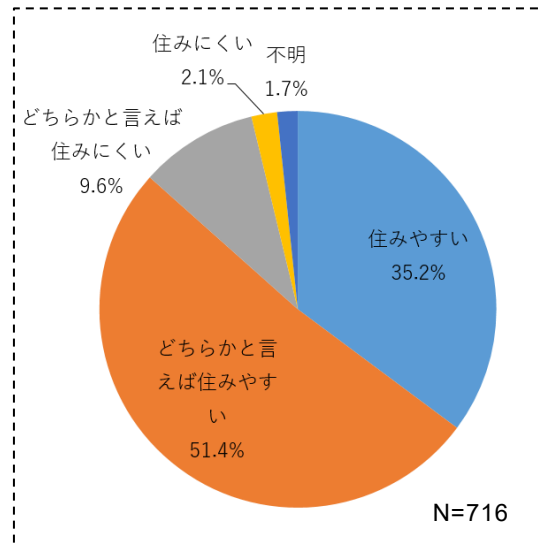


問2 あなたにとって、燕市は住みやすいまちですか。

「住みやすい」が 39.6%、「どちらかと言えば住みやすい」が 49.6%、「どちらかと言えば住みにくい」が 7.1%、「住みにくい」が 1.4%となっている。前回調査と比較して、「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計が 2.6%増加した。

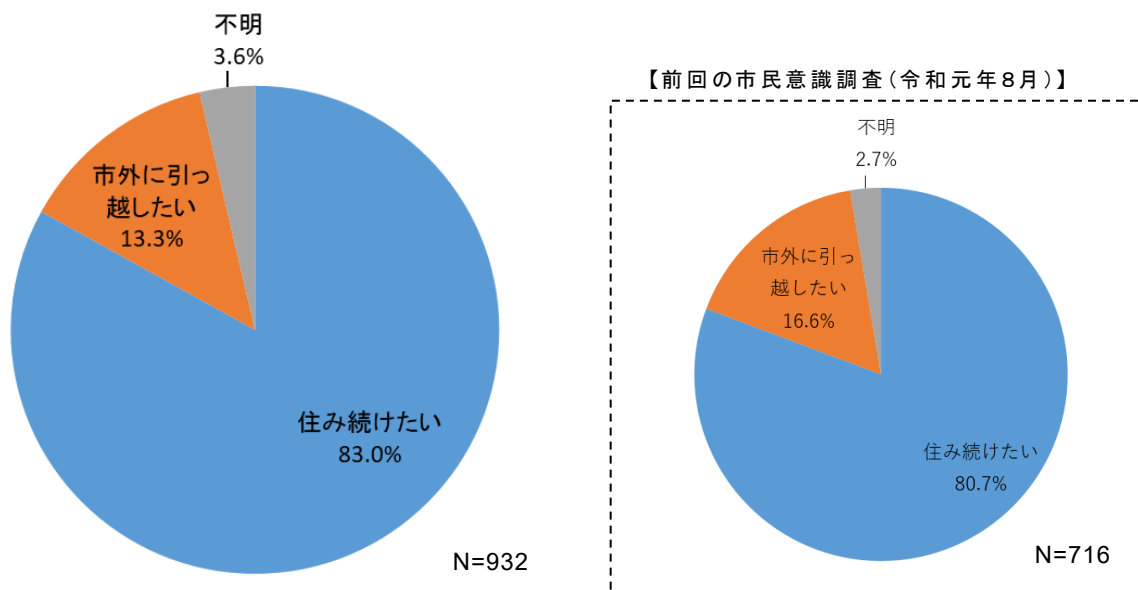


【前回の市民意識調査(令和元年8月)】



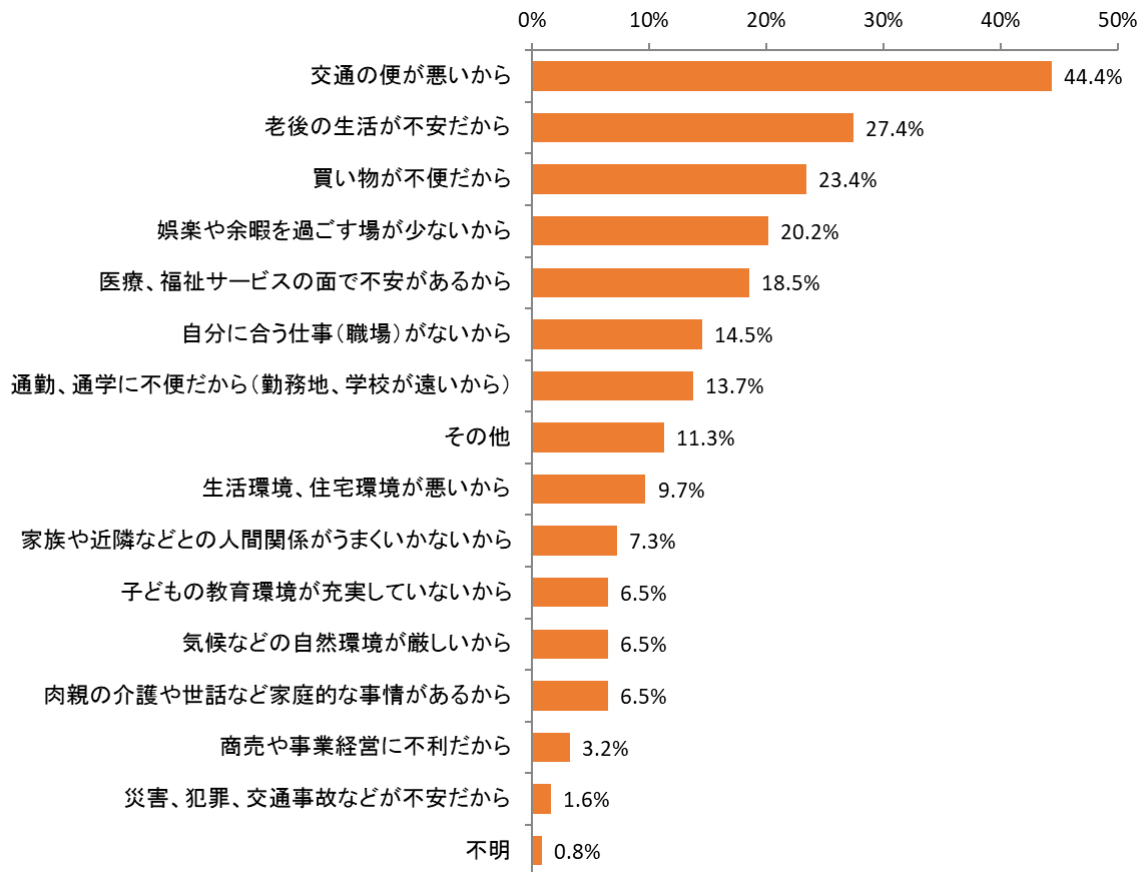
問3 あなたは、今後も燕市に住み続けたいですか。

「住み続けたい」が83.0%、「市外に引っ越したい」が13.3%となっており、前回調査と比較すると、「住み続けたい」が2.3%増加した。



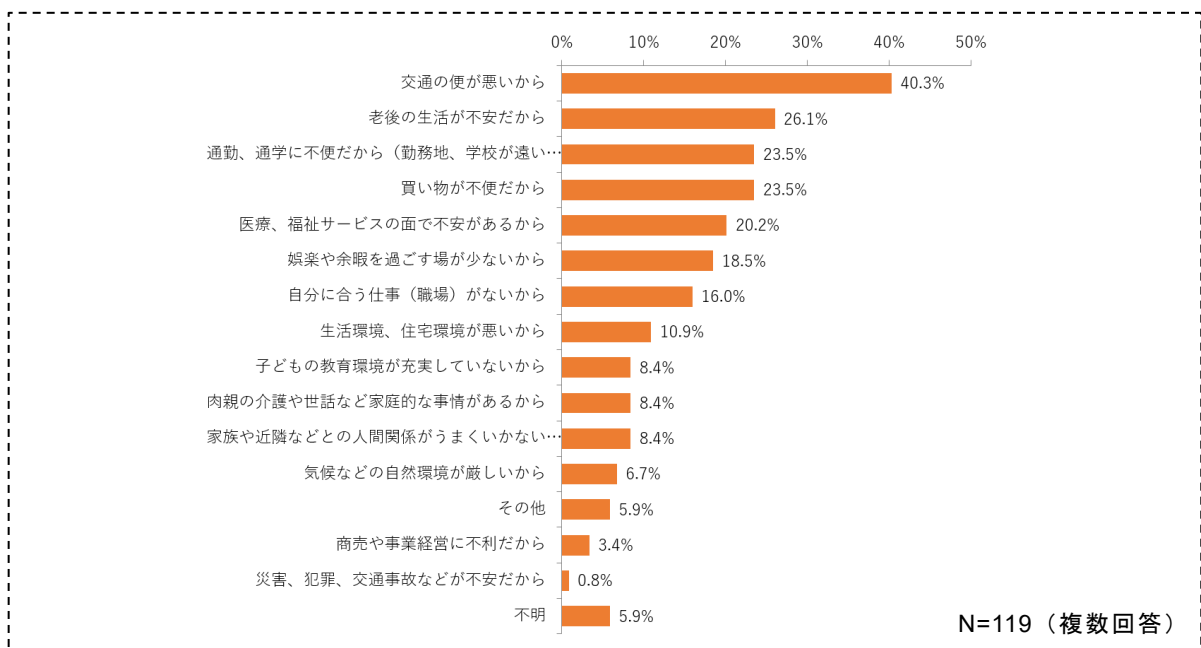
市外に引っ越したい理由

「交通の便が悪いから」が最も多く 44.4%、次いで「老後の生活が不安だから」が 27.4%、「買い物が不便だから」が 23.4%となっている。前回調査との比較では、「交通の便が悪いから」が 4.1%増加し、「通勤、通学に不便だから（勤務地、学校が遠いから）」が 9.8%減少した。



N=124（複数回答）

【前回の市民意識調査（令和元年8月）】



N=119（複数回答）

問4 燕市のまちづくりに対するあなたの満足度と重要度をおたずねします。

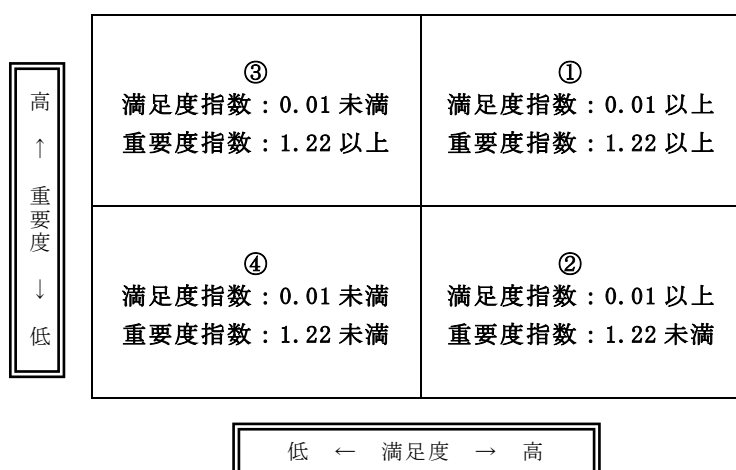
満足度と重要度の関係

市民のまちづくりに対する満足度、重要度について指数化し、相関関係を4象限で表した。数値が高いほど、満足度、重要度も高い。

満足度が高い施策は「上水道の供給」、重要度が高い施策は「医療体制」である。一方、満足度が低い施策は「商業の振興」、重要度が低い施策は「生涯学習、芸術文化活動」であった。前回調査との比較では、各指標の平均において、満足度は±0の0.01、重要度は0.06上昇し、1.22となった。

- 指数の算出について
- ✓ 満足度指数は各項目の回答を、「満足」：2点、「どちらかと言えば満足」：1点、「わからない」：0点、「どちらかと言えば不満」：-1点、「不満」：-2点として、当該施策に対する有効回答者数の合計で除した。
 (例)「地場産業の振興」について、90人は「満足」、351人は「どちらかと言えば満足」、274人は「わからない」、143人は「どちらかと言えば不満」、36人は「不満」と回答した。有効回答者数は932人中894人である。この場合、満足度指数は…
 $(90 \times 2 + 351 \times 1 + 274 \times 0 + 143 \times -1 + 36 \times -2) \div 894 = \underline{\underline{\text{約 } 0.35}}$
 - ✓ 重要度指数は各項目の回答を、「重要」：2点、「やや重要」：1点、「あまり重要ではない」：-1点、「重要ではない」：-2点として、その施策に対する有効回答者数の合計で除した。
 - ✓ 図の原点は各指数の平均（満足度：0.01、重要度：1.22）となっている。

■ 図の見方



① 満足度も重要度も高い施策

満足度を低下させないために、現在の水準を維持・向上させることが求められる可能性のある施策。

② 満足度は高いものの重要度は低い施策

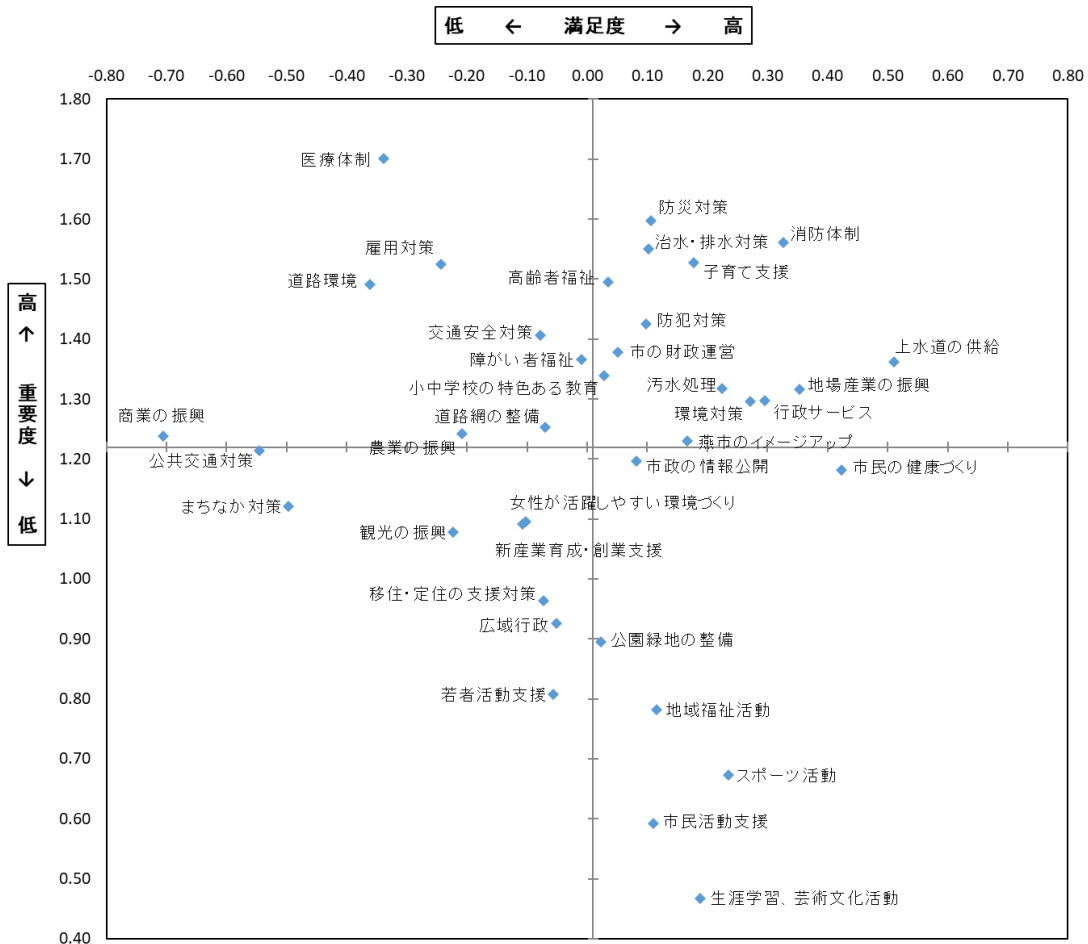
当該施策の社会的意義や法律的な義務付け等への配慮は必要であるものの、財政状況によっては見直しを行う可能性のある施策。

③ 満足度が低く重要度が高い施策

住民の期待に対して十分対応できていない施策であることから、住民満足度を向上するために最も優先して取り組まなければならない可能性のある施策。

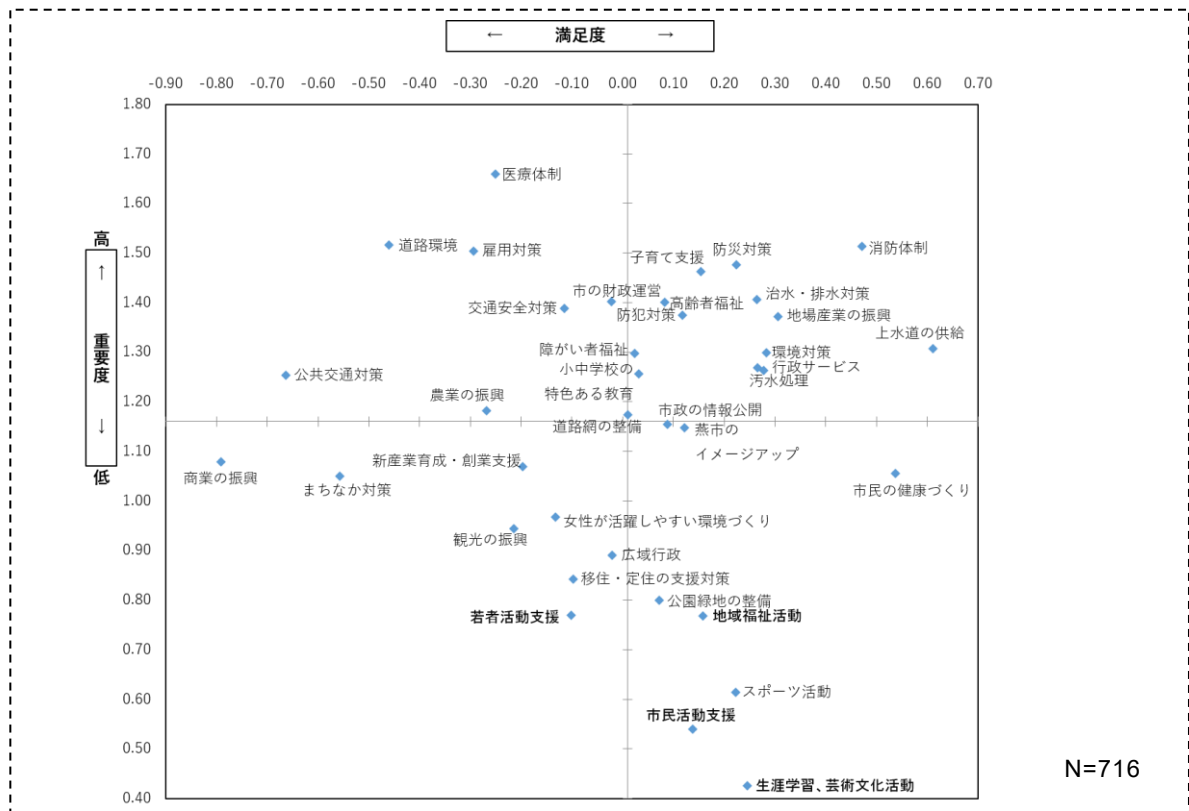
④ 満足度も重要度も低い施策

重要度（住民の期待）が低いため、満足度を上げるための対策は必ずしも緊急ではない可能性のある施策。



N=932

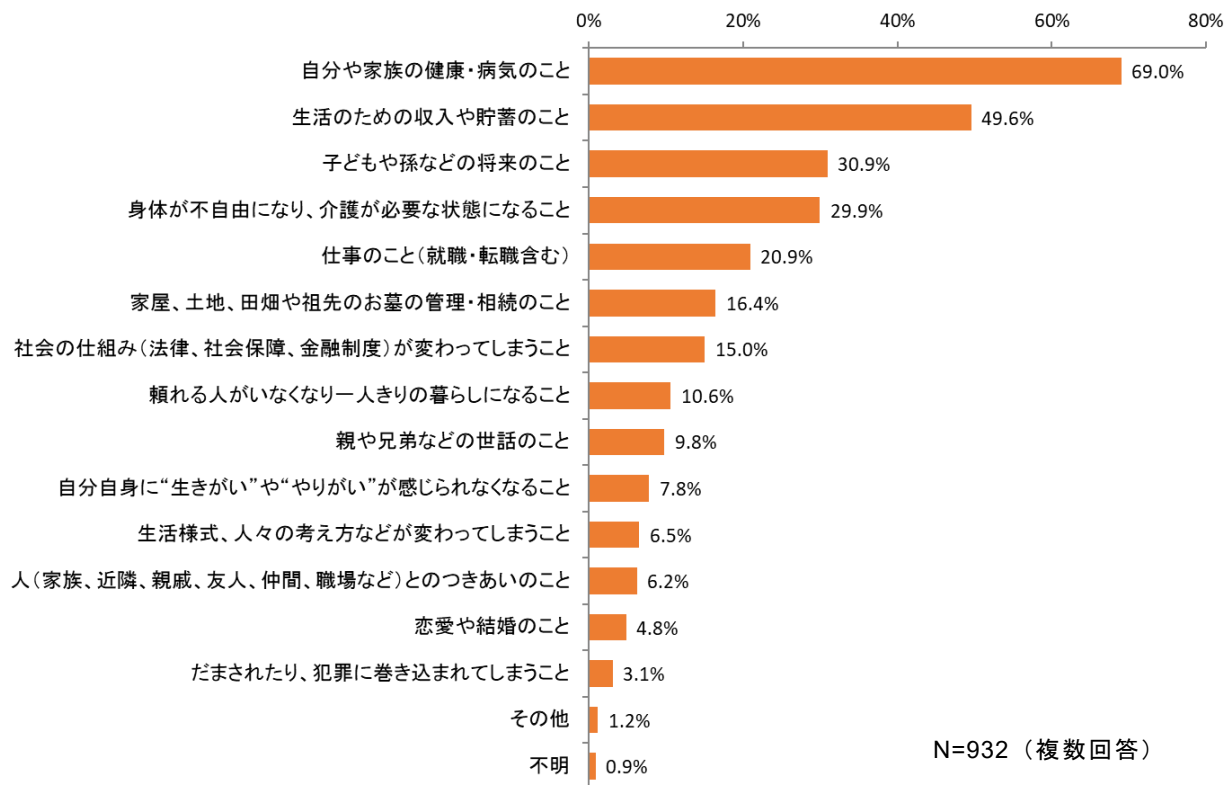
【前回の市民意識調査(令和元年8月)】



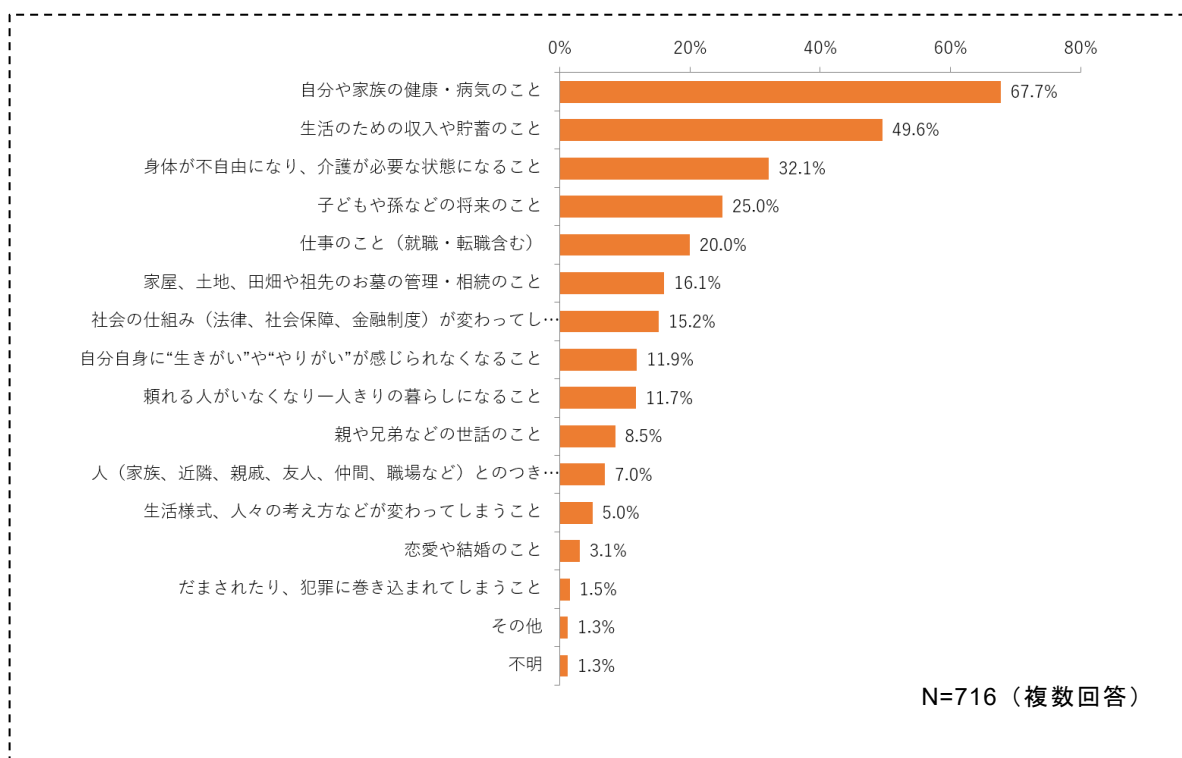
N=716

問5 あなたは5年後、10年後の将来を想像した時、どのような悩みや不安がありますか。

「自分や家族の健康・病気のこと」が69.0%、次いで「生活のための収入や貯蓄のこと」が49.6%、「子どもや孫などの将来のこと」が30.9%となっている。上位2位までは、前回調査と同じ順序である。

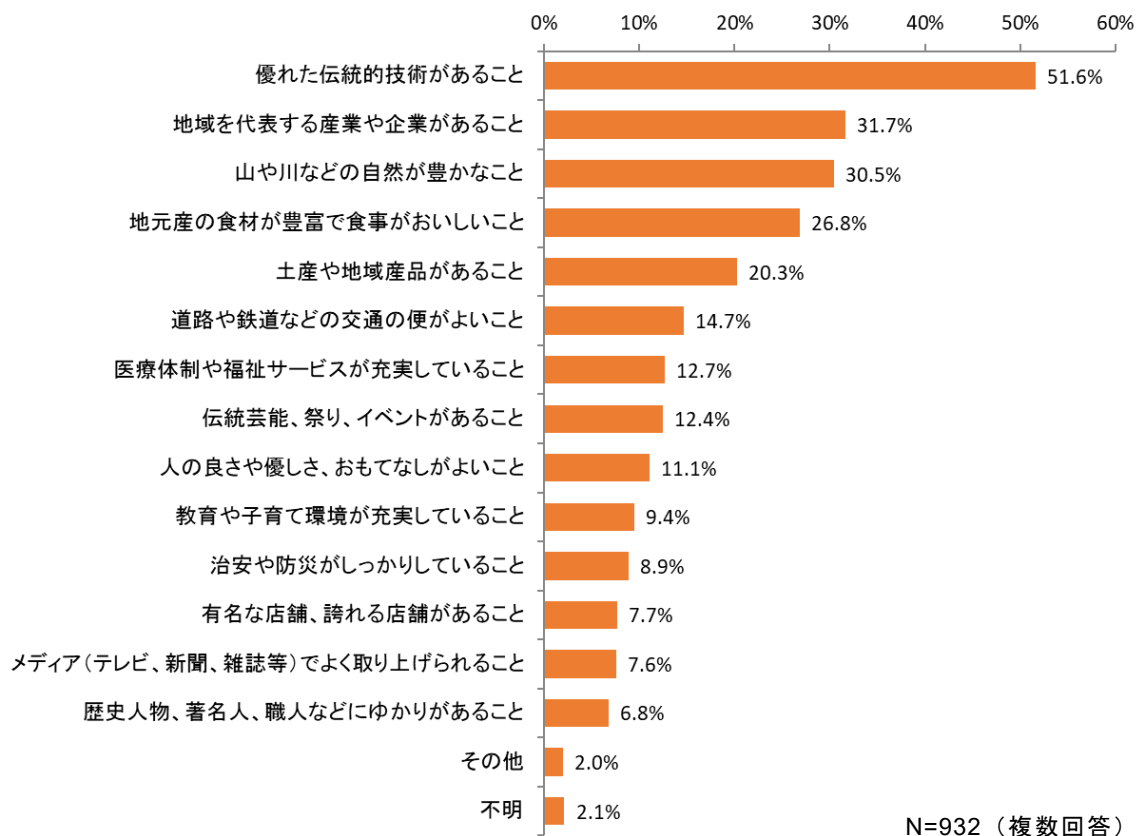


【前回の市民意識調査(令和元年8月)】

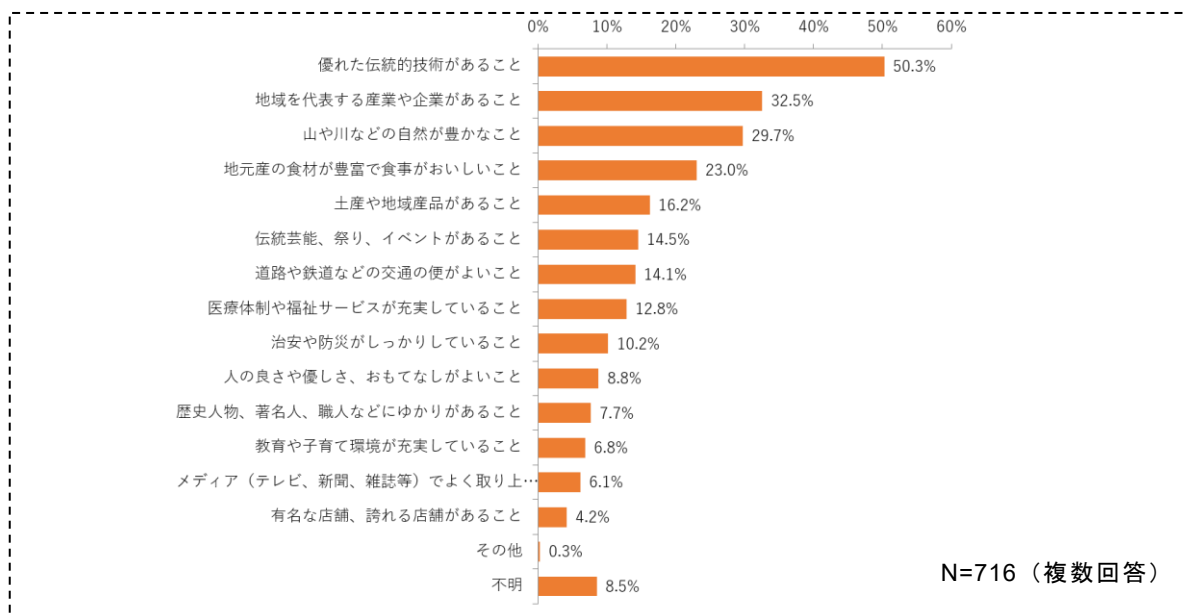


問6 観光資源や地場産業などの地域の特徴を活かした地域活性化（いわゆる地方創生）を進める上で、「燕市」の活かすべき特色や資源、魅力や自慢できることは何だと思えますか。

「優れた伝統的技術があること」が51.6%、次いで「地域を代表する産業や企業があること」が31.7%、「山や川などの自然が豊かなこと」が30.5%となっている。前回調査との比較では、「土産や地域産品があること」が4.1%の増加、「伝統芸能、祭り、イベントがあること」が2.1%減少した。



【前回の市民意識調査(令和元年8月)】



※問6で○印を付けたうち、特色や資源、魅力や自慢できる具体的なこと。

〔食品〕 合計6種 36件

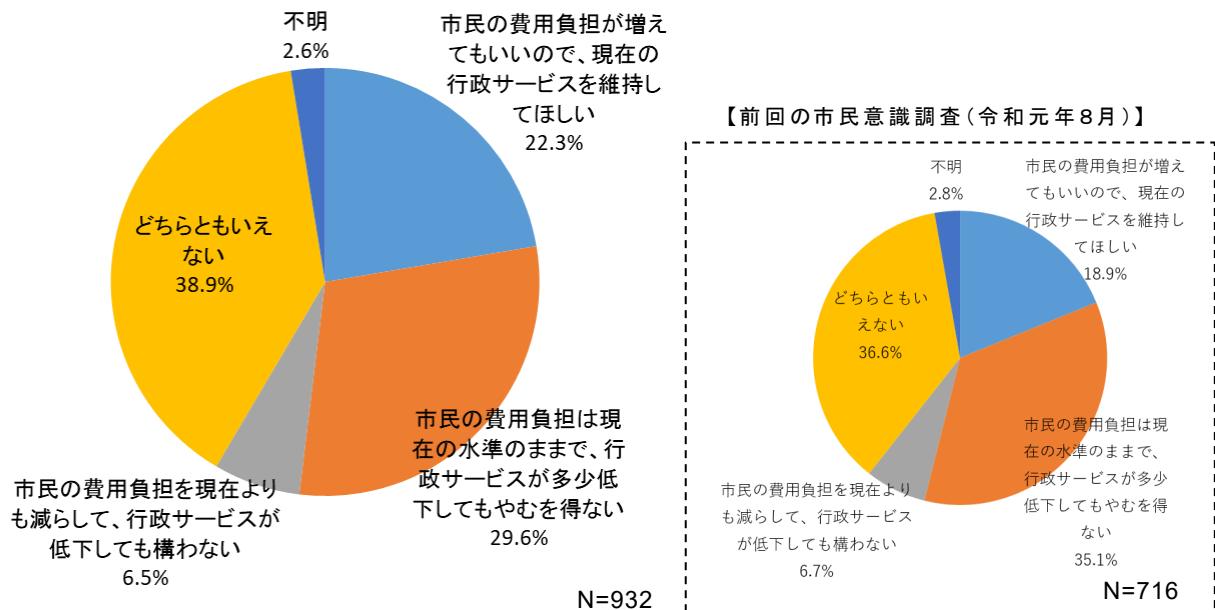
産品名	件数
背脂ラーメン	16
米	6
農産物	6
野菜	4
きゅうり	3
パン	1

〔食品以外〕 合計30種 231件

産品名	件数
金属洋食器	44
金属加工技術	33
地場産業	20
鋤起銅器	14
自然	13
地元企業	11
ハウスウェア	10
大河津分水	9
国上山	9
研磨	8
交通アクセス	8
おいらん道中	8
飲食店	7
信濃川	7
市の子育て施策	5
良寛	4
刃物	4
人	3
萬燈	2
東京つばめいと事業	2
酒呑童子/災害が少ない/医療 機関/市の財政/教育環境/大型 店/純金みこし/道の駅/駅/夕 日	各 1

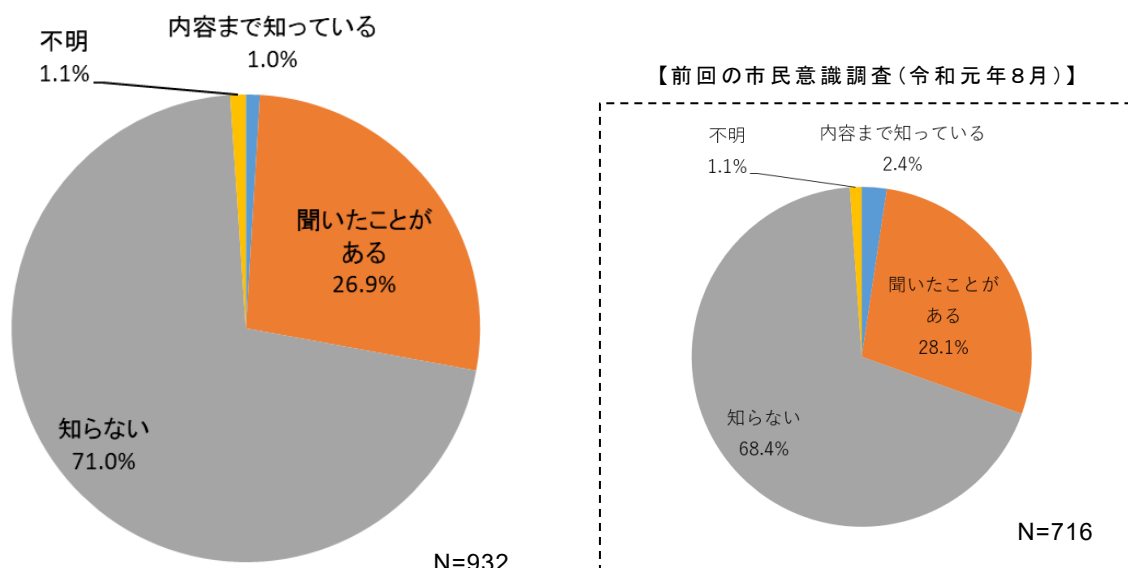
問7 燕市では、限られた予算の効率的執行に努めていますが、今後、人口減少などにより燕市の収入が減ったりすると、公共施設の維持管理や道路の修繕などが今までのようにできなくなるため、市民の皆さんの費用負担が増えることも考えられます。行政サービス（市が行う仕事）と市民の皆さんの費用負担のあり方について、あなたのお考えに最も近いものはどれですか。

前回調査との比較では、「市民の費用負担が増えてもいいので、現在の行政サービスを維持してほしい」が3.4%増加し、「市民の費用負担は現在の水準のままで、行政サービスが多少低下してもやむを得ない」が5.5%減少した。



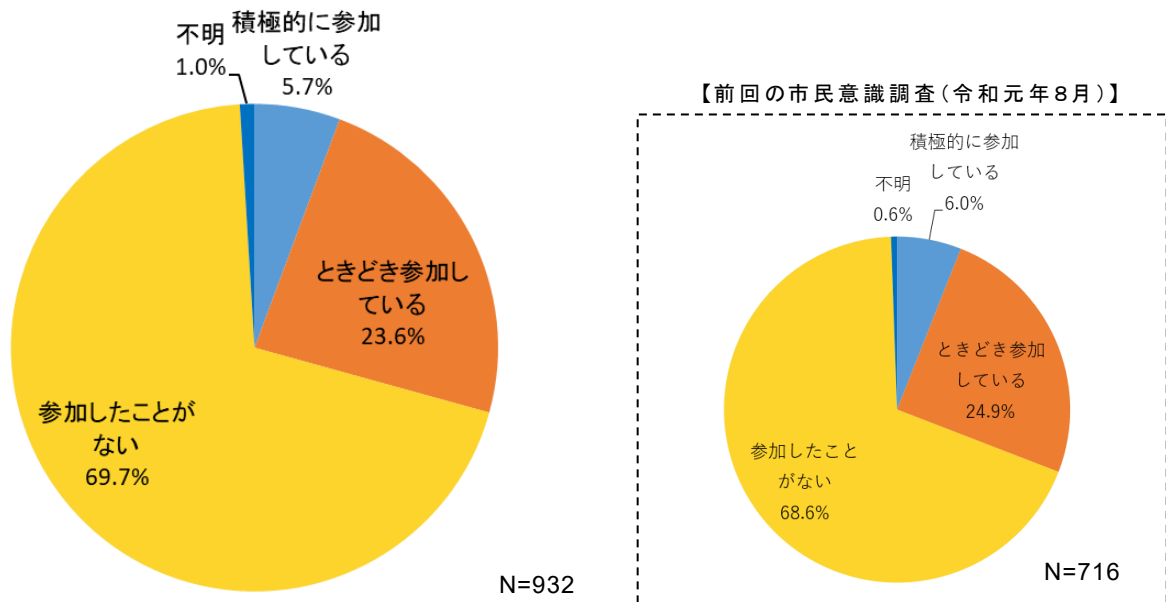
問8 まちづくりの基本理念を定めた「燕市まちづくり基本条例」を知っていますか。

「内容まで知っている」が1.0%、「聞いたことがある」が26.9%、その合計が27.9%であることに対し、「知らない」が71.0%と大きく上回っており、認知度は低い状況となっている。前回調査との比較では、「知らない」が2.6%増加した。



問9 あなたは、最近、自治会やまちづくり協議会、NPO、ボランティア組織などの活動に、どの程度参加していますか。

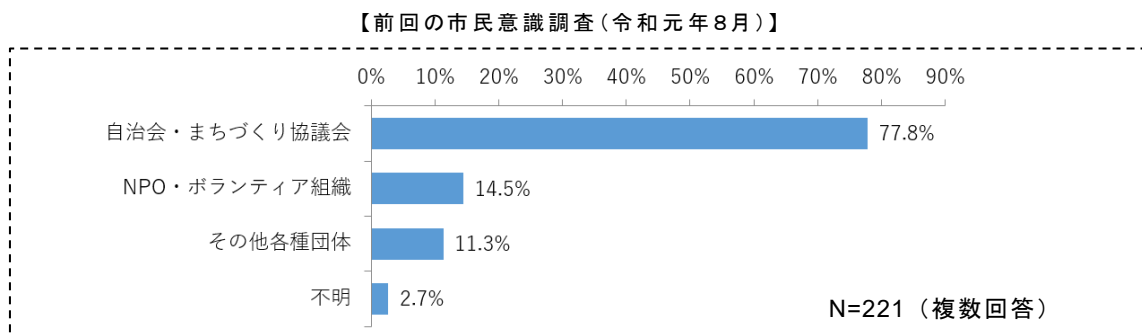
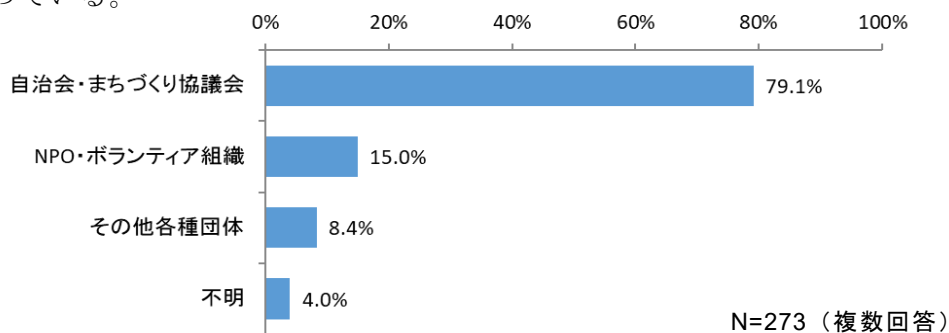
「積極的に参加している」が5.7%、「ときどき参加している」が23.6%、「参加したことがない」が69.7%となっており、自治会、各種団体への参加が進んでいない状況となっている。



問10 参加したことがある団体の活動について

[問9で「積極的に参加している」「ときどき参加している」を回答した方限定]

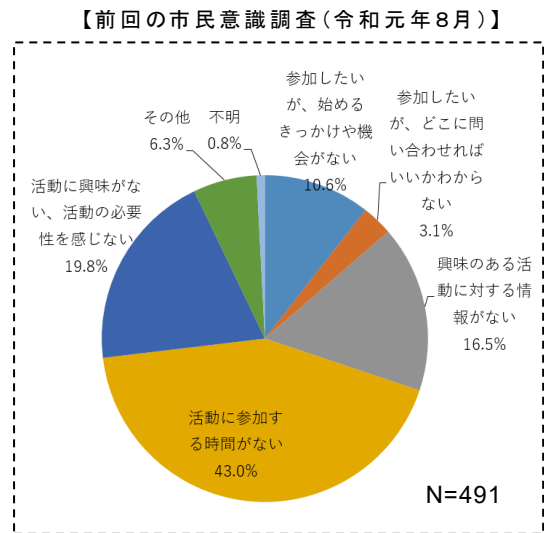
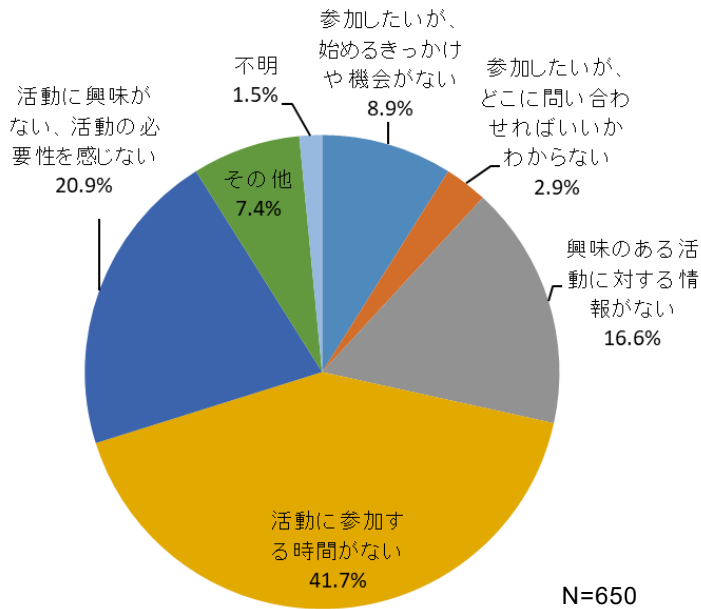
参加したことがある団体活動については、「自治会・まちづくり協議会」が最も多く79.1%、次いで「NPO・ボランティア組織」が15.0%、「その他各種団体」が8.4%となっている。



問11 参加したことがない理由について

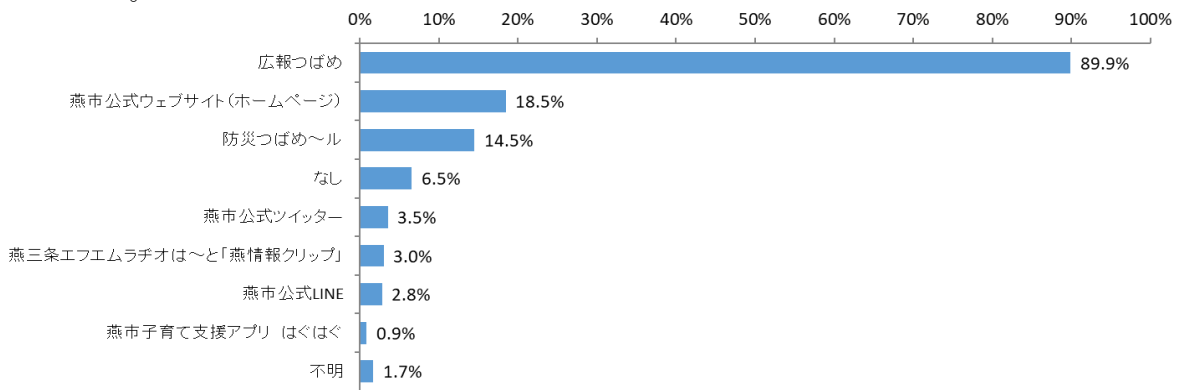
[問9で「参加したことがない」を回答した方限定]

「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」から「活動に参加する時間がない」までの7割の方々の潜在的な活動意欲を活かしきれていない状況となっている。



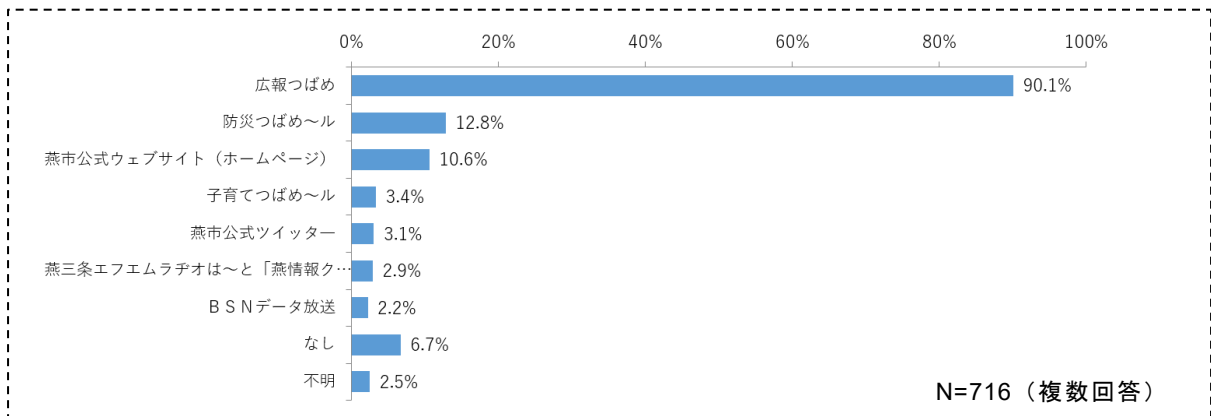
問12 あなたは、燕市が情報発信を行っているどの情報媒体を利用（読む／みる／聴く）していますか。

利用している情報媒体については、「広報つばめ」が最も多く 89.9%、次いで「燕市公式ウェブサイト（ホームページ）」が 18.5%、「防災つばめ〜ル」が 14.5%となっている。前回調査との比較では、「燕市公式ウェブサイト（ホームページ）」が 7.9%増加した。



N=932（複数回答）

【前回の市民意識調査(令和元年8月)】

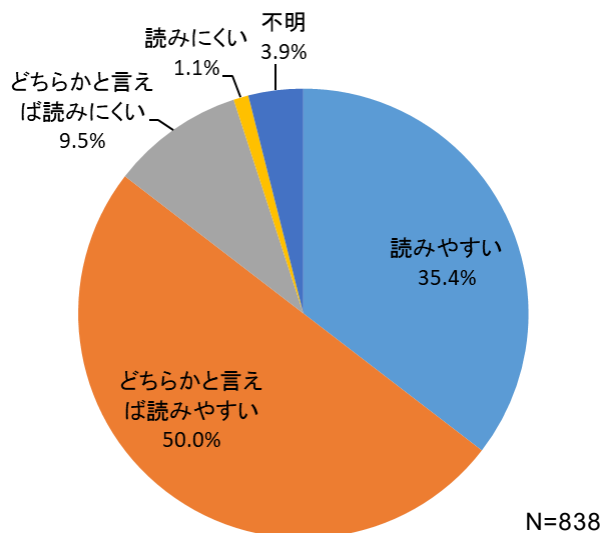


N=716（複数回答）

広報つばめについての読みやすさ

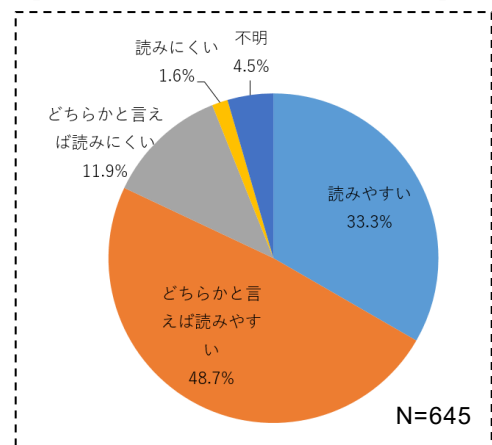
〔問12で「広報つばめ」と回答した方限定〕

広報つばめの読みやすさは、「読みやすい」、「どちらかと言えば読みやすい」で、8割以上を占めている。



N=838

【前回の市民意識調査(令和元年8月)】



N=645

燕市まちづくり市民アンケート

～燕市のこれからのまちづくりのために、あなたのご意見をお聞かせください～

日ごろより市政に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

燕市では、「3つの人口増戦略」*を柱とする第2次燕市総合計画（平成28年度から7か年計画）に基づき、計画的な市政運営を行っています。

そこで、市民のみなさんが日ごろ、まちづくりや身近な環境などについてどのようにお考えになっているのかをお聞きし、それを市政運営の基礎資料として活用するため、毎年アンケート調査を実施しています。

この調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した、市内にお住まいの満18歳以上の2,000名を対象としています。無記名でお答えいただき、統計的な処理を行いますので、個人情報が増れるようなことは一切ございません。また、ご回答の内容が、回答者の不利益となるようなこともございません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年10月

燕市長 鈴木 力

※3つの人口増戦略とは

<p>1. 定住人口増戦略</p> <p>燕に魅力と愛着を感じ、住みたい・働きたいと思う人を増やすことで移住・定住を促進する戦略</p>	<p>2. 活動人口増戦略</p> <p>市民一人ひとりが主役となって行動し、各個人が主体的に活動することでまちの元気を生み出す戦略</p>	<p>3. 交流・応援(燕)人口増戦略</p> <p>燕の魅力に惹かれ、訪れたい・応援したいと思う人を増やすことで地域経済を活性化させる戦略</p>
--	--	--

◆ご回答にあたってのお願い◆

必ず宛て名のご本人がご回答くださいますようお願いいたします。

また、ご回答の方法は、①「本アンケート用紙に直接ご記入」または、②「ウェブでのご入力」のどちらか一方をお選びください。

※両方のご回答はご遠慮願います。

【① 本アンケート用紙に直接ご記入いただく場合】

1. ご記入は黒のボールペンか濃い鉛筆などではっきりとお書きください。
2. ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに **11月4日(水)** までに投函して下さいますようお願いいたします。

【② ウェブで回答いただく場合(タブレット・スマートフォン用)】

1. 右のQRコードを読み取って、回答ページを表示させてください。
2. ご回答は、 **11月5日(木)** までをお願いいたします。



■お問い合わせ先 燕市企画財政部 企画財政課

電話：0256-77-8352 / 電子メール：kikaku@city.tsubame.lg.jp

問4 燕市のまちづくりに対するあなたの満足度と重要度をおたずねします。次の1～37の項目の満足度と重要度についてあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。なお、重要度については、「今後、燕市が取り組むべき施策として重要なテーマかどうか」という観点で、お考えください。

質問項目		現在の満足度					今後の重要度			
		満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	不満	わからない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
		どれかひとつに○					どれかひとつに○			
定住人口増戦略	1 地場産業の振興(ブランド力強化・企業立地促進等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	2 雇用対策(人材確保、就業支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	3 新産業育成・創業支援(新分野参入の支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	4 商業の振興(商店街活性化、商店支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	5 農業の振興(担い手育成、魅力ある農産物づくり等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	6 小中学校の特色ある教育(学力向上、キャリア教育等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	7 子育て支援(保育サービス・母子保健の充実等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	8 医療体制(救急医療、時間外診療等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	9 高齢者福祉(生きがいづくり、介護サービス等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	10 障がい者福祉(福祉サービス、生活支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	11 移住・定住の支援対策(情報発信、相談体制等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
活動人口増戦略	12 市民の健康づくり(各種検診、健康教室等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	13 スポーツ活動(施設整備、講座・競技会等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	14 生涯学習、芸術文化活動(講座・展覧会等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	15 地域福祉活動(ボランティア育成・支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	16 市民活動支援(市民団体・地域活動支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	17 若者活動支援(若者同士の交流や活動の場の提供等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	18 女性が活躍しやすい環境づくり(女性の活躍支援等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4

質問項目		現在の満足度					今後の重要度				
		満足	どちらかと言えば満足			不満	わからない	重要	あまり重要でない		重要でない
			どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	どちらかと言えば満足				やや重要	重要でない	
		どれかひとつに○					どれかひとつに○				
交流・応援(燕) 人口増戦略	19 観光の振興(誘客、情報発信等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	20 広域行政(周辺市町村との連携・交流等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	21 燕市のイメージアップ(対外的な知名度向上)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
人口増戦略を支える都市環境の整備	22 防災対策(自主防災への取組、情報伝達等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	23 治水・排水対策(河川・排水路の整備等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	24 消防体制(火災予防対策、救急搬送体制等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	25 防犯対策(地域防犯活動、消費者保護対策等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	26 交通安全対策(歩道・カーブミラー設置、交通安全運動等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	27 公共交通対策(市内バス・鉄道の利便性等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	28 環境対策(ごみの減量・再資源化、公害防止等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	29 まちなか対策(中心市街地活性化、空き家対策等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	30 公園緑地の整備(都市公園整備、公園管理等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	31 道路網の整備(幹線道路・生活道路の整備・管理等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	32 道路環境(街灯設置、冬場の除雪・消雪等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	33 上水道の供給(断水・漏水対策、水質保全等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
34 汚水処理(公共下水道の整備・管理等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4		
行財政運営	35 市政の情報公開(透明性確保、説明責任等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	36 行政サービス(窓口対応、市民の利便性等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	37 市の財政運営(健全財政、行財政改革等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	

